

琴コンサートの開催
(日本のOECD加盟50周年記念行事)
2014年3月21日(金) 18:00-19:00

- 1 3月21日(金)、OECD本部シャトー内で、日本のOECD加盟50周年記念行事の一環として、兒玉OECD日本政府代表部大使主催の琴コンサートを開催しました。

(御参考) 日本は1964年にOECDに加盟しました。加盟50周年を迎える機会に、日本は5月にパリで開催されるOECD閣僚理事会の議長国を務める予定です。

- 2 同コンサート開催では、欧州で活躍する琴演奏家のみやざきみえ子氏及びヴァイオリニストのマニエル・ソラン氏の共演により名曲「春の海」や沖縄民謡「ていんさぐぬ花」、仏音楽「ラ・ヴィ・アン・ローズ」など幅広い曲目が演奏され、一級の演奏に観客は魅了されました。
- 3 当日は、OECD事務局からラモス事務総長首席補佐官をはじめとする職員の方々、OECD加盟国代表部の大使及び次席級の方々に出席いただき、非常に盛況な会となりました。
- 4 招待客を代表して、ラモス首席補佐官から、1964年に日本がOECDに加盟した際に日本の1人当たりGDPは835ドル、輸出額は6億ドルであったのが、今日では1人当たりGDPは5万ドル、物品・サービスの輸出額は1兆ドルとなり、日本は世界4番目の経済大国となっていること、日本がOECD加盟以来OECDに対して重要な貢献を成し遂げてきたこと、及び、本年のOECD閣僚理事会を機会に、日本とOECDの実り豊かな関係を更に前進させたいと考えていることについて御発言いただきました。

(了)

(以下、琴コンサートの様子)

